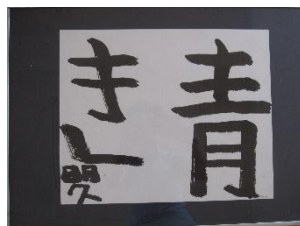


## 【カルチャー習字教室 区展で秀作賞をいただきました】

平成26年に賞を頂いてから3年ぶりに、足立区展書道の部で「書道連盟秀作賞」を頂きました。前回と同じく「葦の会」全体への受賞です。今回は竹ノ塚地域学習センターの4階ホールで、区展全部門の受賞者が一同に会し、足立区長さん、区議会議長さんも出席され表彰式が行われました。久々の受賞ですので喜んで！かつ緊張感を持って、カルチャー習字のメンバーを代表して桑原さんと式に出席しました。式が始まる30分以上前に受付を通り、会場入り。受賞式での席は決まっています、受賞者ではない私は離れて後ろから様子を見守りました。区長さん達の挨拶に続き、区展大賞などの授与が始まりました。桑原さんは背筋をピンと伸ばして行儀よく席に座っています。そして1時間程経った式終盤に係の人に導かれて数人で舞台下まで行き、あたかも名前を呼ぶようなイントネーションで「リード・エイさん」と呼ばれると、迷わずさっと壇上へ向かいました。壇上でもとても姿勢良い後ろ姿でした。かなり長い時間緊張しっぱなし、お疲れ様でした。

さて、賞を頂いた作品ですが習字を教えていただいている大谷津先生がお好きな、室生犀星の詩の一部を一人1~2文字ずつ書いたものです。(右から左へ読んでくださいね)(池田)



(詩 全文↓)

いろ青き魚はなにを悲しみ ひねもすそらを  
 そらは水の上(へ)にかがやき亘りて 魚の  
 あはれ、そらとみづとは遠くへだたり 魚はかた